

**研究課題名：**  
**ヒト全ゲノムシーケンシングにおけるバッチ効果軽減方法の開発**

**1. 研究の対象**

日本人ゲノム解析研究「ゲノム配列を核としたヤポネシア人の起源と成立の解明」に参加協力された方。

**2. 研究目的・方法**

異なる施設あるいは時期に解析したゲノム情報は、データに混入する誤差（わずかな読み間違い）の傾向に違い（バッチ効果）が生じることが分かっています。このバッチ効果を軽減することで、複数施設から提供された多くの人々からのゲノム情報から、より希な個人差についてまで検討することが可能になります。これを実現する方法の開発ため、ご提供いただいたゲノム情報を健常人データとして、他研究の参加者からのゲノム情報と比較して用います。

**3. 研究期間**

長崎大学医歯薬学総合研究科長許可日（2024年4月2日）～2027年3月31日

**4. 研究に用いる試料・情報の種類**

ゲノム塩基配列情報、医療機関名および検体番号

**5. お問い合わせ先**

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

**【研究責任者】**

国立大学法人 長崎大学 原爆後障害医療研究所 ゲノム機能解析部門 人類遺伝学研究分野

氏名：三嶋 博之

住所：長崎市坂本1丁目7番1号

電話：095（819）7120

以上